

SOLAR MATIC

取り扱い説明書 / 保証書

ソーラーマティック用

取説番号：G-25 f

※取り扱い説明書の内容や商品は改良などのため、予告なしに変わる事があります。
 ※この時計によって生じたいかなる支出・損益、その他の損失に対しては一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
 ※この取り扱い説明書は許可なく変更・複製しないでください。

この度は、商品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。お客様の選ばれた商品を末永くご愛用頂ける様、この取り扱い説明書をよくお読み頂き正しくお使いいただきますようお願い申し上げます。尚、この取り扱い説明書はお手元に保管して頂き、必要に応じてご覧ください。

保証書

製品型番 ※保証期間はご購入日より1年間です。

お買い上げ日

ふりがな

お客様氏名

お客様住所

ご連絡先電話番号

無効無効無効無効無効
 無効無効無効無効無効
 無効無効無効無効無効
 無効無効無効無効無効
 無効無効無効無効無効
 無効無効無効無効無効
 無効無効無効無効無効
 無効無効無効無効無効
 無効無効無効無効無効
 無効無効無効無効無効

販売店

本保証書は日本国内に於いてのみ有効です

保証規定

- 保証期間中に、正常なご使用状態に於いて、万一故障が発生した場合には、下記の保証規定により無償で修理・調整させていただきます。本保証書と現品をお買い上げ店へご呈示ください。また、ご購入・転居などによりお買い上げ店での保証が受けられない場合には当社アフターサービスにご呈示ください。
- 通常のご使用状態に於ける故障で、製造上の不具合によるものについては、お買い上げの日より1年間、無償で修理・調整いたします。
- 保証期間中であっても下記の場合には有償となりますので御了承ください。
 - 誤ったご使用またはお取り扱い上の不注意による故障。
 - 火災・水害・地震、その他の天災地変による故障。
 - 不適當な修理や改造による故障。
 - ご使用中に生じた外装・外観上の変化
(ケース・ガラス・リュウズ・バンドのキズ、色落ちなど)
 - 保証書のご呈示がない場合、あるいは保証書にお買い上げ店名、捺印、及びお買い上げ年月日の記入がないなど記入事項に不備がある場合。
- 保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- 修理の時ケース・文字盤・針・ガラス・リュウズ・バンドなどについては、一部代替部品を使用する場合がございますので、御了承ください。
- 最初に入っているモニター用電池、バンドの損耗、電池の消耗による電池交換、などは保証の対象外となります。
- この保証書は、以上の保証規定により無料修理をお約束するもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

製品仕様

- 精度 平均月差 ±20秒以内(気温25℃で使用した場合)
※異なる場合は別途表示致します。
 - 作動温度範囲 -5~+50℃
 - 水晶振動数 32,768Hz(Hz=1秒間の振動数)
 - 駆動方式 ステップモーター
 - 機能
 - ①電池残量チェック機能
 - ②スリープモード(節電機能)
 - ③過充電防止機能
 - 充電電池 ※通常時計店での交換は出来ません。
- 全ての仕様は改良等の為予告なく変更になる場合があります。

修理について

保証期間中のアフターサービスについては、お買い上げ店にご相談ください。保証期間経過後の修理については、お買い上げ店またはお近くの取扱店にご相談ください。修理用部品の在庫が無くなった場合など、修理をお断りさせて頂くこともございますのでご了承ください。

※修理用部品とは作動に必要な時計本体の部品です。実際に修理が可能かどうかはご使用の状態により異なり、時計精度などは元通りにならない場合もあります。修理内容によっては修理代が標準小売価格を上回る事もございますので、修理依頼の際には取扱店とよくご相談の上依頼ください。

製造元 株式会社クレファ

〒104-0041 東京都中央区新富1-15-3新富ヒマビル3F

株式会社クレファアフターサービス

〒252-0134 神奈川県相模原市緑区下九沢1638-1

TEL:042-703-1785 FAX:042-700-1106

(土日休日を除く平日10:00~12:00 / 13:00~17:00)

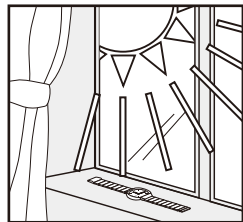
ご使用になる前に

ソーラーウォッチとは

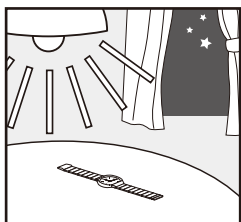
文字盤に設置されたソーラーパネルが、光を電気に変え、内蔵二次電池(充電池)に充電し駆動します。一度フル充電にすると、約5~6ヶ月充電なしでも作動します。(作動期間は、モデルにより異なります)

快適にお使いいただくために

時計を外したら、太陽光や照明の当たる明るい場所に置いてください。暗い場所や引き出し等にしまったりせずに、文字盤を光の当たる場所に置いてください。



太陽光が直接当たる明るい場所
室内の窓際など



照明が当たる明るい場所
室内の机の上など

※光が当たらない場所に置き続けると、充電池の電力不足となってしまう、正常な駆動をしなくなります。特に冬場は時計が袖口に隠れ、充電不足になりがちです。時々、文字盤に太陽光などの光を当てて、充電してください。

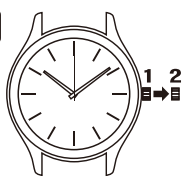
※汗・水分、汚れが付着したまま保管をしますと、ベルトの錆び・破損・革ベルトの劣化・悪臭等が発生します。(詳しくは その他・ケースやバンドのお手入れ 参照)

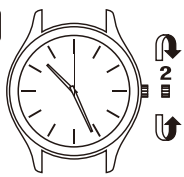
＜充電池が完全放電する場合があります＞

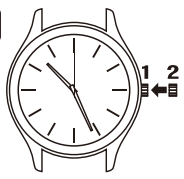
おおよそ6ヵ月以上、暗い場所に保管したままの場合、内蔵された充電池が完全放電してしまう場合があります。そのような場合、太陽光などの強い光に長時間当てる充電が必要になります。


時間の合わせ方

ネジ込み式リュウズの場合はリュウズを回しネジをゆるめてから操作してください。

1  リュウズを2の位置まで引き出します。(秒針が止まります) 秒針は12時の位置に止めてください。

2  リュウズを回して針を合わせます。
 ①正しい時刻より4~5分針を進めます。
 ②針を戻して正しい時刻にします。

3  時報と同時にリュウズを押し込み、1の位置に戻します。ネジ込みリュウズ式時計はリュウズを押し付けながら、止まるまでしっかりとネジ込んでください。

4  時刻合わせ完了です。ただし、針が止まっている場合は下記をご参照ください。

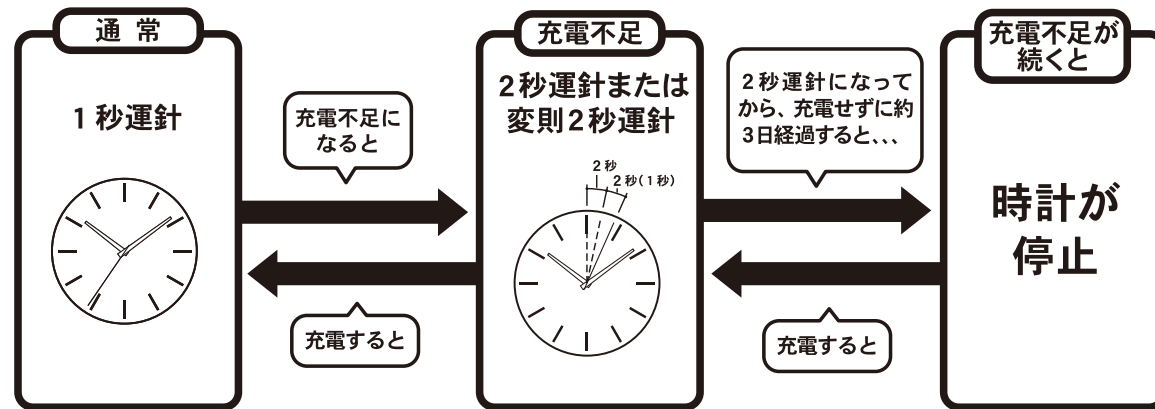
3の操作でリュウズを1の位置に戻した時に秒針が30、35、40秒、いずれかの位置まで進み一時停止します。これは「電池残量チェック機能」が作動している状態です。故障ではありません。しばらくすると時計が正常に動き始めます。動き始める前にリュウズを引いたりしないでください。
 ※秒針停止中にリュウズを操作すると、時刻がずれることがあります。

! 秒針は文字盤の秒時と合わない場所がありますが、時計の性能への影響はありません。

ソーラーウォッチ特有の機能について

充電について

充電を行なうには、明るい光を文字盤に数時間当ててください。太陽光が直接文字盤に当たる室内の窓際などが望ましいです。本体が50度以上の高温になる場所での充電は故障の原因となりますのでご注意ください。充電不足になると、時計は以下のような状態に切り替わります。



※充電後は時刻合わせを行なってください。
 ※しばらく充電をしてからご使用してください。
 ※充電開始から数時間後、動作しているかを確認してください。
 ※動作していない場合は、充電時間が足りない場合がございます。1~3日程度、充電を行なってください。
 ※数日充電を行っても駆動しない場合、充電池の完全放電により充電時間がもっと必要になっている場合がございます。その場合、充電池自体の交換(※有償修理となります)を、お勧めいたします。アフターサービスセンターまで、ご連絡をお願いします。

注意 強い直射日光や白熱灯での充電による、高温故障50度以上の温度になると、故障の可能性が有ります。
 <例>ハロゲンランプ、白熱灯など、高温になる光源に近づけての充電、車のダッシュボード上や、夏場の直射日光など。

充電時間の目安

時計の機種・文字盤の色等によっては充電時間が異なりますのでこの表は目安としてご利用ください。

照度 (ルクス)	環境	必要充電時間	
		停止状態から1秒運針になるまでのおおよその充電時間	停止状態からフル充電になるまでのおおよその充電時間
500	屋内照明	約30時間	約250時間
10,000	曇天	約1時間	約15時間
100,000	*夏の日の直射日光下	約10分	約4時間

上記はおおよその目安です。

※高温にならない事をご確認の上、充電してください。
 室内窓越しに差し込む日光などでの充電をお勧めします。

スリープモード(節電機能)

暗い場所に3日以上置くと、自動的に時計が停止します



暗い場所や薄暗い場所(おおよそ300Lux以下)に、3日間程度置かれていた場合、時計自身が「使用していない」と自己判断し「電池節約の為、時計の駆動を停止」します。この状態を「スリープモード」と言います。

●スリープモードを解除するには?

太陽光など明るい光を時計の文字盤に当ててください。おおよそ500Lux以上の明るさで、光の明るさがスイッチとなりスリープモードが解除します。解除までの時間は、おおよそ5分前後です。
 ※なるべく明るい光に文字盤を当ててください。

●スリープモード解除後の「早回転」について

スリープモードが解除されると、時計自身が記憶している時刻に復帰する為、時計が「早回転」を開始します。早回転が停止したら、時刻の微調整をしてください。



但し、充電残量が少ない時は、早回転をせず電池残量が少ない事を表す「2秒運針(2秒ずつ秒針が動く)」となります。また、状況により1秒ずつ動く運針となる場合もございます。早回転しない場合は、充電池の充電を行なうため、明るい光に文字盤を当てて、しばらく充電をしてからご使用してください。

電池残量チェック機能

充電容量を確認する事が出来ます。



リュウズを2の位置まで引き出して秒針を止め、約2秒以内に1の位置に押し戻すと、針が早送りされて、秒針が以下の3つの内いずれかでしばらく停止します。
 ※リュウズを引いたまま2秒以上放置すると電池を消耗し、時刻がくるう場合があります。



秒針を止めた位置から「40秒経過した位置で止まる」止めた位置から240°の位置
充電レベル：満タン



秒針を止めた位置から「35秒経過した位置で止まる」止めた位置から210°の位置
充電レベル：通常



秒針を止めた位置から「30秒経過した位置で止まる」止めた位置から180°の位置
充電レベル：充電してください

上記は12時位置で秒針を止めた場合の図です。12時位置以外の場所で秒針を止めると、残量を判断しづらい場合がありますので、12時位置で秒針を止める事をおすすめいたします。うまくいかなかった場合は秒針が動き出してから再度お試しください。

充電残量チェックの後

時計内部の時刻が早送りされた針の表示時刻になると、停止した針が動き始めます。(針を止めた時から30~40秒程)

※リュウズを引き、針を止めたまま長時間放置すると、時刻に誤差が生じる場合があります。また、電池も消費します。電池残量チェックを行う時は、リュウズを引いてからなるべく2秒以内にリュウズを押し戻してください。時刻がずれた場合は時間を合わせ直してください。

過充電防止機能

充電池がフル充電されると過充電防止機能が働き、それ以上は充電されないようにしております。

故障かな？と思ったら

修理依頼の前にお調べください

症状：時計が止まった

①スリープモード（節電機能で停止する）ではないですか？

対策：文字盤に明るい光を当て充電してください。

原因：スリープモードが作動中が考えられます。明るい光を当てると約5分前後で駆動を復帰しスリープモードを解除します。復帰の際、時計が早回転する事がありますが故障ではありません。

※「スリープモード機能」の項目をご確認ください。

②充電不足による停止ではないですか？

対策：文字盤に明るい光を当て充電してください。

※「充電について」の項目をご確認ください。

③リュウズを操作した後に時計が止まりましたか？

対策：30～40秒、そのままにしてください。

原因：電池残量チェック機能作動中が考えられます。

※「電池残量チェック機能」の項目をご確認ください。

症状：時計が早回転しだした

対策：針が停止するまでしばらくお待ちください。

原因：スリープモード（節電機能で停止する）から目覚めた状態が考えられます。故障ではありません。記憶している時刻に自動復帰しています。

※「スリープモード機能」の項目をご確認ください。

症状：秒針の動きがおかしい

対策：文字盤に光を当て充電してください。

原因：充電不足の為、2秒運針や変則2秒運針の状態が考えられます。故障ではありません。

※「充電について」の項目をご確認ください。

症状：時刻がずれた

対策：時間合わせをしてください。

原因①：「電池残量チェック機能」を行なった時に、リュウズを約3秒以上引いたままにした可能性が考えられます。

※「電池残量チェック機能」の項目をご確認ください。

原因②：月差±20秒以内なら精度の問題です。故障ではありません。

※「製品仕様」の項目をご確認ください。

安全上の注意

●ご使用になられる方や他の方への危害及び財産の損害を未然に防ぐ為、下の表示で区分されている内容につきましては一読してご確認の上、必ずお守りください。

警告

注意

この表示の欄は、表示内容と異なった使い方をした時に「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

この表示の欄は、表示内容と異なった使い方をした時に「人的傷害または負う可能性が想定される」内容です。

防水ネジ込み式リュウズの取扱い上のご注意

注意

10気圧～20気圧防水時計のリュウズは、ネジ込み式となっているタイプがあります。時刻合わせの際にはリュウズを回してネジをゆるめてから、目付・時刻の修正を行なってください。修正が済みましたらリュウズを押しつけながら、止まるまでしっかりとネジ込んでからご使用ください。

！使用上の不注意による、ネジ込み式リュウズ部分からの水入りの場合修理は有料となります。

防水性について

警告

- 日常生活用防水（3・5気圧）の時計は、水の中に入れてしまう様な環境での使用はできません。
- 日常生活用強化防水（10～20気圧）の時計は、飽和潜水／空気潜水には使用できません。
- 防水構造の時計でも、シャワーや入浴などの温水で使用する事は避けてください。

表示区分	非防水	日常生活用防水		日常生活用強化防水
		3気圧防水	5気圧防水	
ケースの裏又は文字盤に WATER RESISTANT の表示の無い時計	ケースの裏又は文字盤に WATER RESISTANT 3・5 BAR か WATER RESISTANT の表示の有る時計	ケースの裏又は文字盤に WATER RESISTANT 3・5 BAR か WATER RESISTANT の表示の有る時計	ケースの裏又は文字盤に WATER RESISTANT 10・15・20 BAR か WATER RESISTANT の表示の有る時計	
使用状態				
洗顔や雨など一時的にかかる水滴	×	○	○	○
家庭の水仕事や雨など	×	×	○	○
水泳や水仕事など長時間水にふれる場合	×	×	×	○
空気ポンペを使用しないスキュービング	×	×	×	○
空気ポンペを使用する本格的な潜水	×	×	×	×
水滴がついた状態でリュウズ操作	×	×	×	×

※裏面に SHOWER PROOF の表示が有るものは、非防水となります。
※プッシュボタン付きのモデル(クロノグラフ等)は、日常生活用強化防水の物でも水中での操作はできません。
※防水性能には、バンドは含まれません。

注意

- リュウズは、常に完全に押し込んだ状態(通常位置)でご使用ください。リュウズがねじ込みタイプのものであれば、しっかりと締め込まれている事を確認してください。
- 水中あるいは水分がついたままでの、リュウズ及びボタン操作をしないでください。時計内部に水分が入り防水不良・故障の原因となります。
- 非防水時計については一時的にかかる水滴（洗顔時の水はね・雨など）や汗にはご注意ください。万一、水や汗で濡れた場合には乾いた柔らかい布で水分を拭き取ってください。
- 日常生活用強化防水時計でも、勢いのある水道の水を直接あてる等の事は避けてください。防水性能以上の水圧がかかり、防水不良や故障の原因となる場合があります。
- 日常生活用強化防水時計（10～20気圧防水）の場合、海水に浸かった後は、ケースについた海水を真水で良く洗い落とし、洗った後はサビ等が出ないようによく拭き取り乾燥させてください。
- 時計内部には多少の湿気がありますので、外気が時計内部の湿気より低い時などに、ガラス面がかもる場合があります。くもりが一時的な場合は時計内部に支障ありませんが、くもりが長時間消えない場合や時計内部に水分が入っている場合は、そのまま放置せずにお買上げ店またはクレファールお客様相談室にご相談ください。

衝撃・温度について

ショック	軽スポーツによる影響はありません	床に落とす、ぶつける等の激しいショックを与えないでください。ガラスが割れたり、故障の原因になります。
振動	乗り物等の軽い振動による影響はありません	オートバイなどで強い振動が加えられた場合に、一時的に遅れる事があります。
温度	35℃をこえる場所での精度は不安定になります。	直射日光が長時間あつたり、高温になる所に置かないでください。
	5℃に満たない場所での精度は不安定になります。	寒い所に長時間置かないでください。

※温度の影響で多少の進み遅れが生じる事がありますが、常温に戻れば元の精度に戻ります。
※-10℃以下、+60℃以上の温度下に放置すると、止りの原因になる、電池が液漏れする、電池寿命が短くなる等、様々な故障の原因となる事がありますのでご注意ください。

水銀・化学薬品・ガスなど

注意

●水銀・化学薬品（シンナー・ガソリン・各種溶剤・またはそれらを含むクリーナー・接着剤・塗料・薬品・香水・化粧品類）・ガスなどが触れると、ケース・バンド・文字盤の変色、樹脂部品では変色・変形破壊する場合がありますので、充分ご注意ください。

夜光

●時計の夜光には蓄光性塗料を使用しております。この塗料は性質上時間の経過とともに輝度が弱まります。

電池

警告

- お客様自身で電池交換をしないでください。万一、ご自分で交換した際の作業により生じた事故・故障・防水不良等は保証の対象外となります。
- やむを得ずお客様が時計から電池を取出した場合は、電池を直ちに幼児の手の届かない場所に保管してください。
- 万一飲込んだ場合は、体に害がある為、直ちに医師にご相談ください。
- 破裂・発熱・発火などのおそれがありますので、絶対にショート・分解・加熱・火に入れるなどしないでください。

注意

- 10℃以下や+60℃以上の温度下に放置すると、液漏れしたり寿命が短くなる事がありますので、ご注意ください。
- 充電時、時計本体が50度以上の高温になるような直射日光を当て続けると、様々な故障の原因となります。室内の窓越して、日差しを当てた充電を行い、時々時計自体の温度が高温になっていないかを確認してください。

電池寿命

- フル充電時・・・約5～6か月駆動（モデルにより異なります）
- 充電を繰り返すことで、駆動寿命は延びます。
- 当商品は充電可能な特殊なボタン電池型・二次電池を使用しております。使用状況により異なりますが、電池自体の寿命は約10年前後となります。
- 充電・放電の状況により、寿命が短くなってしまう場合もございます。

電池の消耗

- 電池は自然放電によって多少しずつ消耗していきます。
- 止めてある時計を動かす時に、直ちに針が動くように、回路には常に微弱電流が流れるようになっています。そのため針を止めておいても電池は消耗します。

その他

注意

かぶれやアレルギー

- バンドは多少余裕を持たせ、通気性を良くしてご使用ください。
- かぶれやすい体質の方は、体調により皮膚にかゆみやかぶれをきたす事があります。
- かぶれの原因としては、金属・皮革に対するアレルギー、時計本体やバンドに発生した、サビ・汚れ・付着した汗などが考えられますのでご注意ください。
- 万一肌などに異常が生じた場合は直ちに使用を中止して、医師にご相談ください。

ケースやバンドのお手入れ

●ケースやバンドは肌着類と同様に直接肌に接しています。汚れたままにしておくと、衣服を汚したり、肌の弱い方はかぶれたりする事があります。汚れや水分はそのままにせず、柔らかい吸湿性の良い布でふき取り、常に清潔にしておいでください。

色落ち

- 皮革・軟質プラスチックのカラーバンドは、変色・色落ちする場合がありますのでご注意ください。
- カラーバンドを水に濡れたまま、または湿った状態で使用すると色落ちの原因となり、衣服を汚すおそれがありますのでご注意ください。

金属バンド

- 時々やわらかい歯ブラシ等を使い石鹸水で部分洗いなどをしてください。汚れたままにしておくと、サビたり腐食したりする事があります。
- 水分はやわらかい吸湿性の良い布でふき取り、良く乾かしてください。
- 非防水時計は時計本体に水がかからないよう慎重に扱ってください。

革バンド

- 水分・汗・汚れなどは大敵です。時計をはずした後は、柔らかい吸湿性の良い布でふき取り風通しの良い場所に置いて良く乾かしてください。
- 水洗いできません。
- 革バンドは消耗品です。取り換えの目安としては、1年前後と考えられます。ご使用の状態により、劣化や切れ割れがが発生した場合は、一般に販売されているベルトを付け替える事が出来ます。

軟質プラスチックバンド

- ウレタンバンド等、軟質プラスチック製のバンドは、特にお手入れの必要はありませんが、汚れがひどくなると衣服を汚したり皮膚に障害を起こす場合もありますので、時々石鹸水で洗ってください。
- 化学製品なので、溶剤等によって変質する事があります。
- 通常数年の使用で材質が硬化してきますので、その際は新しいバンドと交換してください。

メッキパーツ

●金属バンドやその他金属・プラスチック部分には、メッキを施した製品があります。使用後に手入れをせずに使い続けると、メッキの腐食やハガシの原因となり、衣服を汚したり皮膚がかぶれたりする可能性もあります。特に夏場などの汗をかきやすい季節には、こまめなお手入れを心掛けてください。

耐水処理バンド

●製品により、汗や水に触れても吸収しにくい処理を施したナイロンや皮革バンドを使用している物があります。このバンドの耐水性は使用期間や条件により差がありますが、徐々に効果が衰えますのでご了承ください。

バンドの調節

警告

注意

- 思わぬケガを負う場合がありますので、バンドの調節はお買い上げのお店にご依頼ください。作業中に負ったケガや障害等については、いかなる場合においても当社では責任を負いかねますので御了承ください。
- 無理な力をかけたり、誤った作業をすると部品を傷めるので作業は慎重に行なってください。
- 図はイメージです。時計によって異なる場合があります。

ジャバラタイプ(伸縮タイプ)

このタイプのバンドはフリーサイズの為、サイズ調節は出来ません。※ジャバラバンドは構造上、無理にねじると部品が外れる場合がございます。脱着時には、バンドがねじれないように、充分ご注意ください。

注意

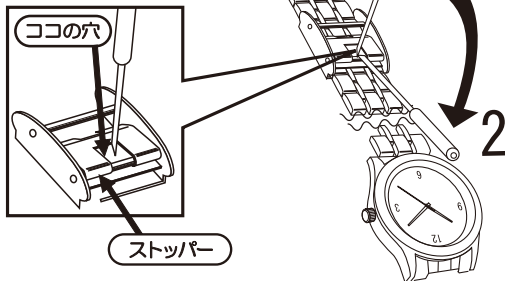
図のような取り扱いは絶対しないでください。

フリー調整タイプ

留め金をずらした後に、余った部分を取り外す事はできません。誤った調整を行なうと部品を破損してご使用できなくなります。

① ロックを外します。

マイナスドライバー等で、時計の文字盤側から図の位置に差し込み、ストッパーを上を起こしロックを外します。

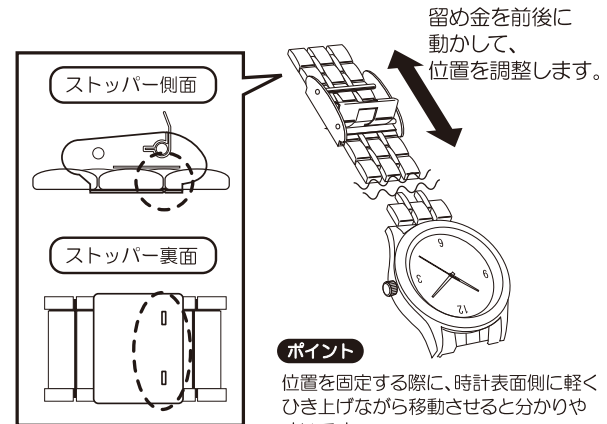


※留め金の破損 注意！
時計の文字盤側以外からストッパーをこじ開けないこと

※ロックが外れた図：次項②を参照

② 位置を決めます。

ストッパーの底の出っ張りをバンドのコマとコマの隙間に合わせます。



留め金を前後に動かして、位置を調整します。

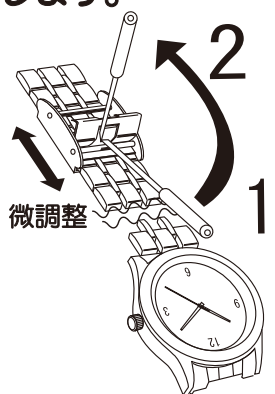
ポイント

位置を固定する際に、時計表面側に軽くひき上げながら移動させると分かりやすいです。

③ ストッパーを固定します。

マイナス精密ドライバー等を図の様に指定の穴に差し込みベルト末端に向けて倒すように固定します。

素手でストッパーを押し込み固定することは、とても固く難しいと思われる。図の様な精密ドライバーを使うと楽に固定できます。



ストッパーは固定出来る位置と出来ない位置があります。工具を使っても固く倒しこめない時は無理におしこまないでください。ストッパーの位置を少し前後に動かし再度試してください。

※図はイメージです。時計によって異なる場合があります。

板バネタイプ

① 図の位置に千枚通し等の工具を差し込み、バンド裏側の矢印方向に押し出すとピンが外れます。

② ピンを抜くとバンドが外れます。①と②をくりかえして全体の長さを調節します。

③ 外すバンド駒が多い場合は、時計の12時側と6時側両方から同じ位の駒数を外してください。

③ バンドをかみあわせてピンを元に戻してください。

ヘアピンタイプ

① 図の位置に調整の工具を差し込み、バンド裏側の矢印方向に押し出すとヘアピンが抜けます。

② ヘアピンを抜くと、バンドが外れます。①と②をくりかえして全体の長さを調節します。

③ 外すバンド駒が多い場合は、時計の12時側と6時側両方から同じ位の駒数を外してください。

③ バンドをかみあわせて、ヘアピンを元に戻してください。※ヘアピンの向きは、入っていた時と同じ向きに入れてください。